

事務事業名 農村地域防災減災事業負担金(堀之内ため池)		所属部 産業振興部	所属課 農林土木課	
総合計画体系	政策名 (V)挑戦し活力を産みだすまち<<産業>>	所属G 農林道G	課長名 渡部克彦	
	施策名 (36)農業の振興	担当者名 小田川博志	電話番号 0854-40-1053 (内線) 2402	
	目的: 市内の農家 意図 安全・安心な農畜産物を生産するとともに、農業所得が向上する。	予算科目 会計 款 大事業 大事業 0 1 3 0 0 2 項 目 中事業 中事業 0 5 5 5 3 6	土地改良事業	
	基本事業名 (107)農業基盤の整備 目的: 担い手農家・担い手以外農家 意図 農業の生産性を維持・向上できるようにする。		農村地域防災減災事業負担金	

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度 ~)
<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (25 年度 ~ 28 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
緊急に改修または補修が必要なため池の整備 負担率: 国55%、県30%、市14%、地元1%
堀之内ため池 1箇所

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動					
	27年度実績(27年度に行った主な活動) 工事負担金の支出 現地確認 事業説明会	28年度計画(28年度に計画する主な活動) 工事負担金の支出 現地確認 事業説明会				
	② 活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
	ア 現地確認回数	回	2	4	4	4
	イ					
	ウ					
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	雲南市内の老朽化したため池	③ 対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
			ア 調査・改修するため池の数	箇所	1	1	1	1
			イ					
			ウ					
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	老朽ため池の現状の把握により改修計画の作成及び改修	④ 成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
			ア ため池改修事業費	千円	468	24,000	30,000	54,000
			イ					
			ウ					

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (27年度決算)	② コストの推移	単位	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(計画)
事業費負担金	財源内訳	国庫支出金	千円			
・堀之内ため池 事業費: 30,000千円 市負担: 4,200千円(負担率14%) 地元負担: 300千円(負担率1%)		県支出金	千円			
	地方債	千円		3,000	3,700	6,800
	その他	千円		240	300	540
	一般財源	千円	468	360	500	760
	事業費計(A)	千円	468	3,600	4,500	8,100
	人件	正規職員従事人数	人	2	2	2
	費	延べ業務時間	時間	10	20	20
		人件費計(B)	千円	39	78	78
		トータルコスト(A)+(B)	千円	507	3,678	4,578

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
東日本震災以降、防災減災事業については比較的予算がつきやすくなっている。	特になし	要望した受益者からは、事業が開始されて良かったとの声が大勢である。

事務事業名	農村地域防災減災事業負担金(堀之内ため池)	所属部	産業振興部	所属課	農林土木課
-------	-----------------------	-----	-------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	定率負担をしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	改修に必要な計画が立てられなくなる。
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)		県営事業であり、市の負担が低いため有利である。
	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない		
A 目的 妥当性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		改修計画を立てるために必要な調査を行なうものである。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？			
B 有効性	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由	負担金業務であるため、削減余地はない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由	全体を調査したうえでの緊急性を考慮している。
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である			
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	適正な予算執行に努めた。	
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり			
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり			
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり			

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	●	×	低下	×	×
		コスト																	
	削減	維持	増加																
成果	向上																		
	維持	●	×																
	低下	×	×																
今後も同様に適正な執行に努める。	<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																		